

中井子ども会
副会長 橘 純代

小学生向け 認知症サポーター養成講座

このほど中井子ども会では「認知症サポーター養成講座」を開催いたしました。

内容ですが・・・

地域包括支援センターのスタッフが二人来てくださり、子供向けにわかりやすく認知症についてのお話をしてくださいました。

認知症ってなに？というところから始まり、現在、人口の三人に一人がお年寄りであるなどの説明を受けました。

実際に認知症の人の頭の中を覗いてみよう！ということで、帽子を記憶していく場所、ボールを記憶する内容にみだて、帽子の中にボールを入れる作業をしていきました。元気な人は帽子の中にボールをどんどん入れて貯めておけるけれど、認知症の人はボールが次から次へとこぼれおちてしまいます。子供たちは競って楽しそうにボールを入れていました。

また、認知症の人への接し方も学びました。認知症になっている人を怒ってはいけない、余計に混乱し、興奮してしまいます。

地域包括支援センターの方が、寸劇を交え、わかりやすく良い対応方法を教えてくださいました。おじいちゃんお嫁さんに扮したスタッフが困ったおじいちゃんも、接し方で全然変わるんだよと具体的な話しかけかたも教えてくださいました。

認知症の人への〈さしすせそ〉

- ・ **さ**りげなく
- ・ **し**からない
- ・ **す**みやすい環境
- ・ **せ**っとくよりも納得
- ・ **そ**んけいの気持ちと教わりました。



また、終了後は認知症サポーターの証として、ロバのマスコットと、オレンジリングをいただきました。